



もてなしのアーキテクチャ図

マスターデータ管理を使用したデータプラットフォームの宿泊施設



マスターデータ管理を使用したデータプラットフォームの宿泊施設: もてなしのアーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

データプラットフォーム MDM の宿泊施設 i

MDM 図を使用したデータプラットフォームの宿泊施設 1

詳細情報 2

図の履歴 2

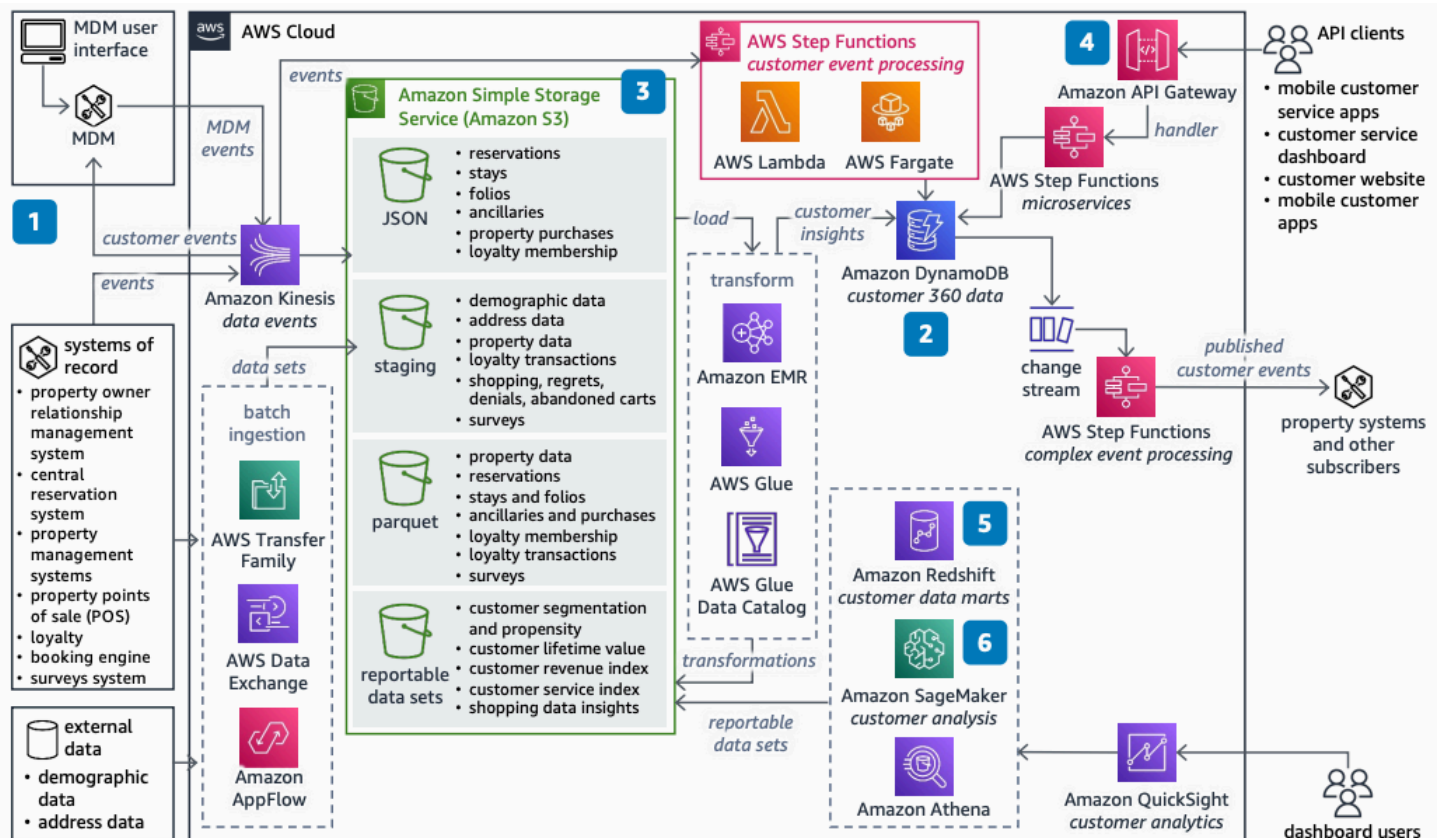
..... iii

マスターデータ管理を使用したデータプラットフォームの宿泊施設

公開日: 2022 年 10 月 7 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャでは、MDM ツールを使用して嗜好データプラットフォームを強化できます。一意の旅行客を特定し、ロイヤルティメンバーシップレコードを重複排除します。で ML 変換機能 [AWS Glue](#) を使用して、重複する顧客を特定します。ロイヤルティメンバーを超えて、各顧客の 1 つのビューを構築します。

MDM 図を使用したデータプラットフォームの宿泊施設



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. MDM ツールを使用して、顧客データの単一ビューをサービスとして拡張します。統一された顧客レコードを作成します。の ML Transform 機能を使用して AWS Glue、ロイヤルティメンバーシップとロイヤルティにサインアップしていない顧客の重複を特定します。

2. オペレーションデータストア、データレイク、分析プラットフォームを新しい顧客データフィードに適応させます。顧客中心のマイクロサービスとイベントの新しいバージョンとして新しい機能を提供します。
3. ライフタイム値、収益インデックス、サービスインデックスを顧客中心のビューに変更することで、データレイクを強化します。
4. 新しいマイクロサービスを追加して、とを使用して新しい顧客中心のサービスを使用[AWS Step Functions](#)および公開します[AWS Lambda](#)。
5. [Amazon Redshift](#) の新しい顧客中心のドメインスキーマとデータマートを使用して、エンタープライズデータウェアハウス (EDW) を拡張します。
6. 既存の未加工データと厳選されたデータと新しい顧客データを使用して、[Amazon SageMaker AI](#) で新しいモデルを構築します。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図に関する最新情報を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 10 月 7 日

RSS サブスクリプション要件

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。